

学校紹介
新聞

茨城県立 太田第一高等学校・付属中学校



- ◆校 長 谷津勉
- ◆生徒数 高 校 590人
付 属 中 118人
- ◆創 立 1900年
- ◆住 所 常陸太田市栄町58

わが校
独自の
オンライン

ベトナムスタディーツアーで民族舞踊(ぶよう)体験=ベトナム・ホーチミン市内



体験留学で多様性理解

ベトナムツアーや高校主催のフランス語講座を通じて、私は言語の重要性和言語がもつ文化的価値について深く知ることができました。「不安」が「期待」へと変わり、「留学体験から、多角的なものの見方ができるようになりました。今は将来のためにロシア語など、さまざまな言語に触れています。(高2 飛田龍音)



飛田龍音

オーストラリアでの体験留学で、言葉や文化の違いに触れ、ダイバーシティ(多様性を理解し尊重すること)の大切さを学びました。太田一高付属中では、その学びを学校生活に生かし、考えを認め合うことを大切にしています。多様な価値観を受け入れ協働する姿勢は、私たちの成長につながり、未来をより豊かにしていく力になると信じています。(中3 天森心結)



天森心結



卒業50周年・25周年記念祝賀式=常陸太田市市内



中高合同探究発表会VR体験=常陸太田市市内

こんな
学校です!



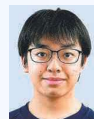
左:常陸太田市まつり出前講座(こま)DXディレックス体験。右上:青龍祭。右下:ライフスルセミナー。右:ヒップホップバトル



課題発見し解決へ議論



小峰遙斗



京極蓮武

太田一高は、今年で創立125周年を迎えた伝統校です。本校の特徴は、生徒が自ら課題を発見し、互いを尊重しながら、解決にむけて、議論することに積極的なところです。全校生徒で本校の課題について議論する生徒総会や100人規模の青龍祭実行委員会の活動がその一例です。ほ

かにも探究活動や部活動など、自分の未来に向けてやりたいことに挑戦できる学校です。(高校生徒会長 3年 小峰遙斗)
太田一高付属中は、6月の青龍祭や10月の体育デーのように、中・高で協力してつくる行事が多い学校です。中高合同の探究発表会や部活動を通して、経験豊富な先輩と協働できます。国際交流や海外体験留学などもあり、そこで身につけたチャレンジ精神は、これからの人生で挑戦をしていく時の自信になると思います。(付属中学生会長 3年 京極蓮武)



生徒会とクラス代表などによる生徒評議会(ひょうぎかい)

生徒主体の活動

みんな納得する結論に

私はこれまで自分の考えを伝えたり表現したりすることが苦手でしたが、生徒会で仲間とともに地域の課題を見つけて、その解決にむけて議論を重ねていくなかで、次第に表現できるようになりました。仲間と試行錯誤したシティズンシップの体験は、忘れられない思い出となりました。(高3 富田花菜)



富田花菜

生徒会活動を通じ、コミュニケーション能力が大きく成長しました。春の交通安全運動では、運転手の方に事故防止を呼びかけ、初対面の人へ積極的に話しかける勇気が身につきました。校則の議論では、司会として、多数決では解決できない意見の対立を調整しました。相手の立場を理解し、みんなが納得する結論を導くことの重要性を学びました。(中3 高浦千空)



高浦千空

わが校の誇り



中高合同探究発表会=常陸太田市市内

探究活動で視野広がる



菊地陽南



堀江虎太郎

私は、独学で学んだ韓国語や得意な英語を生かして海外観光客を増やし、茨城の健康食材や農業を体験してもらうツアーをチームで探究し、観光甲子園全国大会で準優勝できました。自分の「好き」が社会に生かされると気づいたので、将来は教師として探究をサポートすることを目指しています。(高3 菊地陽南)
太田一高付属中では、他の付属中との交流会や本校独自の中高合同探究発表会に向け、同じ興味を持つ仲間と探究活動に励んでいます。校内での異文化交流や海外体験留学を通して、国際的な課題解決にもチャレンジ。課題を的確に発見する多角的な視点や創造的に解決に導く論理的な能力が高まり、地域的な課題解決に向けての視野も広がりました。(中3 堀江虎太郎)